

**Classical Japanese Literature**  
日本古典文学  
日本の古典文学

English Translation Classical Japanese Literature	Chinese Translation 日本古典文学	Japanese Original 日本の古典文学
<b>The Kojiki</b> (Records of the Ancient Matters)	古事記 (712年)	古事記 (712年、奈良時代) 作者不明  (倭健=ヤマトタケル) 國を思ひて歌曰ひたまひしく、 倭(やまと)は國のまほろば、たたなづく青垣山隠れる、倭しうるわし。(景行記)
<b>The Tale of the Heike</b> (Warring States)	平家物語 (戦国時代)	平家物語 (戦国時代) 作者不明  祇園精舎(ぎおんしょうじゃ)の鐘の声 諸行無常(しよぎょうむじょう)の響きあり 沙羅双樹(さらそうじゅ)の花の色 盛者必衰(ひっすい)の理(ことわり)をあらわす 奢(おご)れる人も久しからず ただ春の夜(よ)の夢のごとし 猛(たけ)き者もついに滅びぬ 偏(ひとへ)に風の前(まへ)の塵(ちり)に同じ
<b>Matsuo Basho's Haiku</b> (Edo Period)	松尾芭蕉的俳句 (江戸時代)	松尾芭蕉の俳句 (江戸時代)  古池や 蛙(かわず)飛びこむ 水の音 (『奥の細道』)  初しぐれ 猿も小蓑を ほしげ也 (『猿蓑』)  出所： <a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%BE%E5%B0%BE%E8%8A%AD%E8%95%89">https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%BE%E5%B0%BE%E8%8A%AD%E8%95%89</a>

**Masaoka Shiki's Haiku (Meiji Period)**

**正岡子規的俳句 (明治时代)**

**正岡子規 (明治時代)**

柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺(ほうりゅうじ)

金州城にて

行く春の酒を たまはる陣屋哉 (じんやかな)

(大連市の「金州副都統衛署」に石碑がある)

出所：

<http://www.abt247.om/logos/china/dalian.html#jinzhou>